

ひとり 一学習 一スポーツ
VOL. 28

生涯学習

一趣味 一奉仕

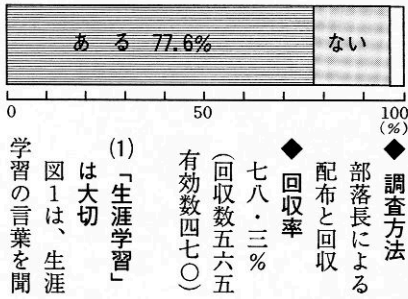
意識調査結果の概要

平成五年十月末に実施しました生涯学習に関する意識調査結果の概要をお知らせします。

◆ 調査に協力いただいた市内有権者六〇〇名を無作為に抽出

- ◆ 調査したこと
- ①生涯学習の活動実態
 - ②生涯学習に関する住民のねがい
 - ③生涯学習を進めるための課題

図1 生涯学習ということばを聞いたことが



◆ 調査方法
部落長による配布と回収
◆ 回収率
七八・三%
(回収数五六五
有効数四七〇)

(1) 「生涯学習」は大切
図1は、生涯学習の言葉を知

表1 過去1年間の学習経験者(各年代ごとの割合)

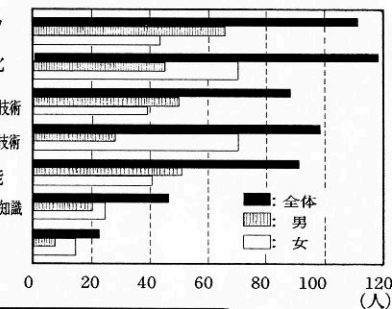
年代	%	年代	%
20	40.4	50	47.8
30	36.4	60	43.5
40	37.4	70以上	51.0

いたという人は全体の約8割で、今後その趣旨についても、認識が広まるような広報が必要です。

(2) 学習への参加とその内容
過去1年間の学習経験をした人は、全体の三九・六%でした。なお、各年代別で見ると、表1のようになっています。全体から見ると、三〇〜四〇代のいわゆる「働き盛り」がやや少なめであるのに対し、五〇代から上は多くなる傾向にあります。

「内容」は、一位「教養文化」二位「スポーツ」

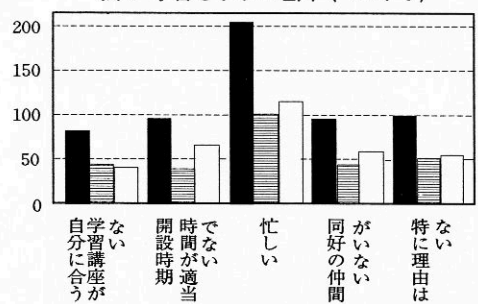
図2 過去1年間に学習した内容



年代別で見ると、「スポーツ」は四〇代が最も多く、三〇代、二〇代と順に少なくなっています。「仕事の知識技術」は四〇代で多く取り組まれており、また、「教養文化」や「生活の知識技術」は四〇・五〇・六〇代の順で増えています。また、「趣味芸能」は四〇代から急に増えている傾向にあります。

三位「生活に関する知識技術」
四位「趣味や芸能」
五位「仕事に関する知識技術」
六位「地域での生活の知識技術」
でした。女性は「教養文化」や「生活の知識技術」が多いのに対し、男性は「スポーツ」が最も多く「仕事の知識技術」や「趣味芸能」についても多く行われています。(図2)

図3 学習をしない理由(ベスト5)



(3) 学習しなかった理由ベスト5
「忙しい」が二〇人と圧倒的に多く、年代別でも、全般的に多くなっています。次に、「開設時期・時間が不適切」で、女性に多く見られます。「同好の仲間が少ない」や「特に理由なし」も多く、後者は六〇代に目立ちます。「適当な施設なし」は二〇〜三〇代に多く、「指導者がいない」は三〇〜四〇代に多い。また、二〇〜三〇代の方がカルチャーセンター等で学ぶ人が比較的多くみられました。

「金子みすゞの童謡を読んで」

審査結果

- 感想文
- 【入選】
五年 築後 佳華(古市上)
上田 綾(上城)
六年 岡本 幸子(炭床)
- 【佳作】
五年 下村 美樹(黄波戸)
中井 隆嗣(黄波戸)
六年 岡村 知佳(黄波戸)
岡 春菜(長崎)
熊野 利恵(畑下)
竹田 信(上城)
- 感想文
【特選】

山口県学校美術展 審査結果

- 【入選】
六年 芝田 幸祐(新町)
六年 小林亜里紗(炭床)
上野 雅子(上城)
- 【佳作】
五年 原田 勝通(長崎)
藤井 純子(川原)
- 絵画の部
【推奨】
四年 岡藤 正恵(長行)
- 版画の部
【優良】
五年 西岡 良介(新町)
- 【入選】
五年 藤川 絵美(東坂本)